



2026年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月15日

上場会社名 株式会社 I G ポート 上場取引所 東
コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 栗本典博 TEL 0422-53-0257
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年5月期第1四半期の連結業績（2025年6月1日～2025年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年5月期第1四半期	3,063	△31.6	196	△55.8	211	△52.2	199	△13.8
2025年5月期第1四半期	4,479	79.6	444	34.9	443	△3.5	231	△31.4

(注) 包括利益 2026年5月期第1四半期 197百万円 (△11.1%) 2025年5月期第1四半期 222百万円 (△34.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年5月期第1四半期	10.06	—
2025年5月期第1四半期	12.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年5月期第1四半期	13,641	9,504	69.7
2025年5月期	13,092	7,829	59.8

(参考) 自己資本 2026年5月期第1四半期 9,504百万円 2025年5月期 7,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年5月期	—	0.00	—	11.00	11.00
2026年5月期	—				
2026年5月期（予想）		0.00	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年5月期の連結業績予想（2025年6月1日～2026年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,772	8.0	1,792	25.7	1,659	16.9	1,358	64.1	67.55

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) ー、除外 2社 (社名) 株式会社シグナル・エムディ、Great Pretender razbliuto 製作委員会

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年5月期1Q	20,221,600株	2025年5月期	20,221,600株
② 期末自己株式数	2026年5月期1Q	14,875株	2025年5月期	1,091,641株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年5月期1Q	19,811,419株	2025年5月期1Q	19,130,051株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価上昇と実質賃金のマイナスが続く中で、個人消費が低迷していますが、インバウンド需要等により緩やかな回復基調にあります。しかしながら、地政学リスクが高いまま長期化していることや米国の関税政策の動向、各国の政策金利による為替変動等、外部要因による下ぶれリスクもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画・製造、販売及び電子コミックスの配信を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る版權事業、キャラクター商品の卸販売等を行う商品販売事業を中心に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,063,750千円（前年同期比31.6%減）、経常利益は211,550千円（前年同期比52.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は199,359千円（前年同期比13.8%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、テレビ用アニメーションは「花ざかりの君たちへ」「春夏秋冬代行者 春の舞」「SPY × FAMILY Season 3」等、劇場用アニメーションは「劇場版ハイキュー!! VS 小さな巨人」、配信用アニメーションは「Star Wars Visions Presents -The Ninth Jedi」「THE ONE PIECE」等、納品へ向けそれぞれ制作しております。

テレビ用アニメーションの「怪獣8号 第2期」「真・侍伝YAIBA」等は、納品しテレビ放映となりました。その他に、遊技機やCM等のアニメーションを制作・納品しました。

一部の作品については、制作期間の長期化による人件費の増加、CG制作費や外注費等が高騰しており、受注損失引当金を計上しております。

以上により、当事業の売上高は1,892,075千円（前年同期比7.1%増）、営業損失は136,609千円（前年同期は394,796千円の営業損失）となりました。

② 出版事業

出版事業におきましては、月刊誌「コミックガーデン」、コミックス「リインカーネーションの花弁 22巻」「ふかふかダンジョン攻略記 〜俺の異世界冒険譚〜 17巻」等、定期月刊誌3点、並びに新刊コミックス・書籍30点を刊行しました。

また、「魔導具師ダリヤはうつむかない〜Dahliya Wilts No More〜」は原作小説が2024年7月よりテレビアニメとして放映され、その後も電子書籍を中心に新刊・既刊コミックスの販売が好調に推移しておりますが、刊行・出版物の部数が伸び悩んでおります。

以上により、当事業の売上高は555,177千円（前年同期比5.4%減）、営業利益は90,073千円（前年同期比30.2%減）となりました。

③ 版權事業

版權事業におきましては、「ハイキュー!!」「進撃の巨人」「BUBBLE」「怪獣8号」「SPY × FAMILY」等のシリーズタイトルを中心に、二次利用による収益分配を計上しました。

前年同期に「君に届け 3RD SEASON」のライセンス収入の全てを一括計上したほか、「劇場版 ハイキュー!! ゴミ捨て場の決戦」の収入が大きく寄与したため、その反動で売上高は減少しております。その他の作品の版權収入につきましては順調に推移しております。

以上により、当事業の売上高は、500,212千円、（前年同期比75.7%減）、営業利益は323,039千円（前年同期比56.6%減）となりました。

④ 商品販売事業

商品販売事業におきましては、I.G & WIT Anime Studio Store や国内販売店への卸売りを行いました。

以上により、当事業の売上高は48,160千円（前年同期221.0%増）、営業損失19,689千円（前年同期比は7,839千円の営業損失）となりました。

⑤ その他

その他の事業におきましては、雑誌のイラスト描きや講師料等により当事業の売上高は68,124千円（前年同期比20.2%増）、営業損失は1,337千円（前年同期比は8,596千円の営業利益）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産

資産におきましては、前連結会計年度末に比べ548,922千円増加し13,641,013千円となりました。主な要因は、現金及び預金が1,586,690千円、映像マスターが41,689千円増加し、一方、売掛金及び契約資産が1,086,148千円減少したことによるものであります。

② 負債

負債におきましては、前連結会計年度末に比べ1,126,384千円減少し4,136,310千円となりました。主な要因は、未払金が202,535千円、賞与引当金が130,590千円増加し、一方、未払法人税等が463,410千円、前受金が360,333千円、受注損失引当金が180,143千円、買掛金が151,319千円減少したことによるものであります。

③ 純資産

純資産におきましては、前連結会計年度末に比べ1,675,307千円増加し9,504,703千円となりました。主な要因は、株式会社サンリオと資本業務提携契約を締結し、同社を割当先とする第三者割当による自己株式の処分(929,100株)を行ったことにより資本剰余金は1,278,896千円の増加し、自己株式の処分や株式給付信託(J-ESOP)における株式給付等により自己株式が411,201千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び配当金の支払等の結果、利益剰余金が12,856千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月期の業績予想につきましては、2025年7月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,650,042	6,236,733
売掛金及び契約資産	5,415,679	4,329,531
商品及び製品	166,653	187,093
仕掛品	20,417	22,499
貯蔵品	8,719	8,539
前渡金	141,362	143,253
その他	243,183	230,312
貸倒引当金	△2,868	△2,958
流動資産合計	10,643,190	11,155,004
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	468,131	468,013
土地	651,249	651,249
映像マスター（純額）	251,375	293,065
その他（純額）	236,587	219,138
有形固定資産合計	1,607,344	1,631,466
無形固定資産		
コンテンツ資産	27,822	29,834
その他	64,753	63,108
無形固定資産合計	92,576	92,942
投資その他の資産		
投資有価証券	285,825	292,144
繰延税金資産	102,853	104,278
その他	360,299	365,175
投資その他の資産合計	748,978	761,599
固定資産合計	2,448,899	2,486,008
資産合計	13,092,090	13,641,013

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	898,048	746,729
未払金	162,373	364,909
未払印税	351,110	309,612
未払法人税等	475,194	11,784
前受金	1,212,374	852,041
預り金	439,993	440,926
賞与引当金	—	130,590
役員賞与引当金	78,688	37,857
株式給付引当金	69,252	7,395
受注損失引当金	511,792	331,648
その他	687,884	520,588
流動負債合計	4,886,712	3,754,082
固定負債		
退職給付に係る負債	127,085	126,157
役員退職慰労引当金	106,263	108,760
繰延税金負債	18,145	19,950
その他	124,488	127,359
固定負債合計	375,982	382,227
負債合計	5,262,694	4,136,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	781,500	781,500
資本剰余金	2,258,560	3,537,457
利益剰余金	5,193,036	5,180,180
自己株式	△417,660	△6,459
株主資本合計	7,815,436	9,492,679
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	13,958	12,023
その他の包括利益累計額合計	13,958	12,023
純資産合計	7,829,395	9,504,703
負債純資産合計	13,092,090	13,641,013

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)
売上高	4,479,510	3,063,750
売上原価	3,634,175	2,452,427
売上総利益	845,334	611,322
販売費及び一般管理費	400,898	414,842
営業利益	444,436	196,480
営業外収益		
受取利息	677	5,449
為替差益	—	5,058
持分法による投資利益	2,108	7,733
受取賃貸料	5,727	6,462
その他	1,648	761
営業外収益合計	10,161	25,464
営業外費用		
支払利息	46	—
為替差損	1,743	—
賃貸収入原価	5,480	5,564
投資事業組合運用損	1,294	1,295
雑損失	3,009	2,829
その他	0	706
営業外費用合計	11,575	10,394
経常利益	443,023	211,550
特別損失		
減損損失	1,095	—
特別損失合計	1,095	—
税金等調整前四半期純利益	441,928	211,550
法人税、住民税及び事業税	233,099	11,811
法人税等調整額	△10,917	379
法人税等合計	222,181	12,190
四半期純利益	219,746	199,359
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,473	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	231,220	199,359

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)
四半期純利益	219,746	199,359
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,307	△1,934
その他の包括利益合計	2,307	△1,934
四半期包括利益	222,054	197,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	233,527	197,425
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,473	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月17日開催の取締役会決議に基づき、株式会社サンリオと資本業務提携契約を締結し、同社を割当先とする第三者割当による自己株式の処分(929,100株)を行いました。

この結果、前連結会計年度末と比べ、資本剰余金は1,278,896千円増加し、自己株式は347,028千円減少しました。

また、株式給付信託(J-ESOP)における株式給付等により、自己株式は64,173千円減少しました。

当第1四半期連結会計期間末において、資本剰余金は3,537,457千円、自己株式は6,459千円となっています。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2025年8月31日)
減価償却費	1,151,889千円	87,121千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年6月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版 事業	版權 事業	商品販売 事業	計		
売上高							
TV・配信・ビデオ用の アニメ映像制作	1,369,404	—	—	—	1,369,404	—	1,369,404
劇場用のアニメ映像 制作	80,402	—	—	—	80,402	—	80,402
その他のアニメ映像 制作	313,454	—	—	—	313,454	—	313,454
コミック・書籍の出 版販売	—	141,349	—	—	141,349	—	141,349
電子書籍の販売	—	445,634	—	—	445,634	—	445,634
映像コンテンツの版 権料	—	—	1,736,093	—	1,736,093	—	1,736,093
出版物に係る原作印 税収入	—	—	42,788	—	42,788	—	42,788
商品の販売等	—	—	—	15,004	15,004	—	15,004
その他	2,916	—	14,207	—	17,124	56,674	73,798
顧客との契約から生 じる収益	1,766,177	586,983	1,793,090	15,004	4,146,251	56,674	4,217,930
その他の収益	—	—	261,580	—	261,580	—	261,580
外部顧客への売上高	1,766,177	586,983	2,054,670	15,004	4,422,836	56,674	4,479,510
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,766,177	586,983	2,054,670	15,004	4,422,836	56,674	4,479,510
セグメント利益又は損 失(△)	△394,796	128,975	744,366	△7,839	470,706	8,596	479,303

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)出稿や講師等を行っています。

2. 「その他の収益」には、製作委員会への出資から生じる収益の分配等の企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	470,706
「その他」の区分の利益	8,596
全社費用(注)	△34,866
四半期連結損益計算書の営業利益	444,436

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間において、「映像制作事業」に係る減損損失1,095千円を計上しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年6月1日 至 2025年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版 事業	版權 事業	商品販売 事業	計		
売上高							
TV・配信・ビデオ用のアニメ映像制作	1,494,232	—	—	—	1,494,232	—	1,494,232
劇場用のアニメ映像制作	94,744	—	—	—	94,744	—	94,744
その他のアニメ映像制作	305,131	—	—	—	305,131	—	305,131
コミック・書籍の出版販売	—	62,379	—	—	62,379	—	62,379
電子書籍の販売	—	492,797	—	—	492,797	—	492,797
映像コンテンツの版權料	—	—	218,969	—	218,969	—	218,969
出版物に係る原作印税収入	—	—	29,521	—	29,521	—	29,521
商品の販売等	—	—	—	48,160	48,160	—	48,160
その他	△2,032	—	14,188	—	12,155	68,124	80,279
顧客との契約から生じる収益	1,892,075	555,177	262,678	48,160	2,758,092	68,124	2,826,216
その他の収益	—	—	237,533	—	237,533	—	237,533
外部顧客への売上高	1,892,075	555,177	500,212	48,160	2,995,626	68,124	3,063,750
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,892,075	555,177	500,212	48,160	2,995,626	68,124	3,063,750
セグメント利益又は損失(△)	△136,609	90,073	323,039	△19,689	256,813	△1,337	255,476

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)出稿や講師等を行っています。

2. 「その他の収益」には、製作委員会への出資から生じる収益の分配等の企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づく収益を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	256,813
「その他」の区分の損失	△1,337
全社費用(注)	△58,996
四半期連結損益計算書の営業利益	196,480

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「商品販売事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産にかかる重要な減損損失)

該当事項はありません。